

つながることと切ること

コンゴ民主共和国、ボンガンドの声の世界

木村大治

京都大学大学院

アジア・アフリカ地域研究研究科

海外学術調査ワークショップ

『フィールドで「聞く」—フィールドサイエンスの可能性』

聴覚について

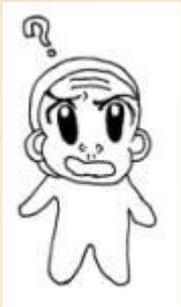
- ・ K君の話
- ・ キンシャサ, ホテル・マトングェにて
- ・ フィールドワーカーの感性？ あまり感じすぎるのも考えもの

物理的なうるささとインタラクティブ なうるささ

- ・ 「ピアノ騒音殺人事件」1974
- ・ 電車の中の携帯はなぜうるさいのか

切ることの大切さ: フレーム問題

- ・ すべての情報を受けとめてしまっても、やっ
られない
- ・ 「フレーム問題」 McCarthy and Hayes (1969)
- ・ 私は誰とインタラクトしているのか (声の場合)



ボンガンド

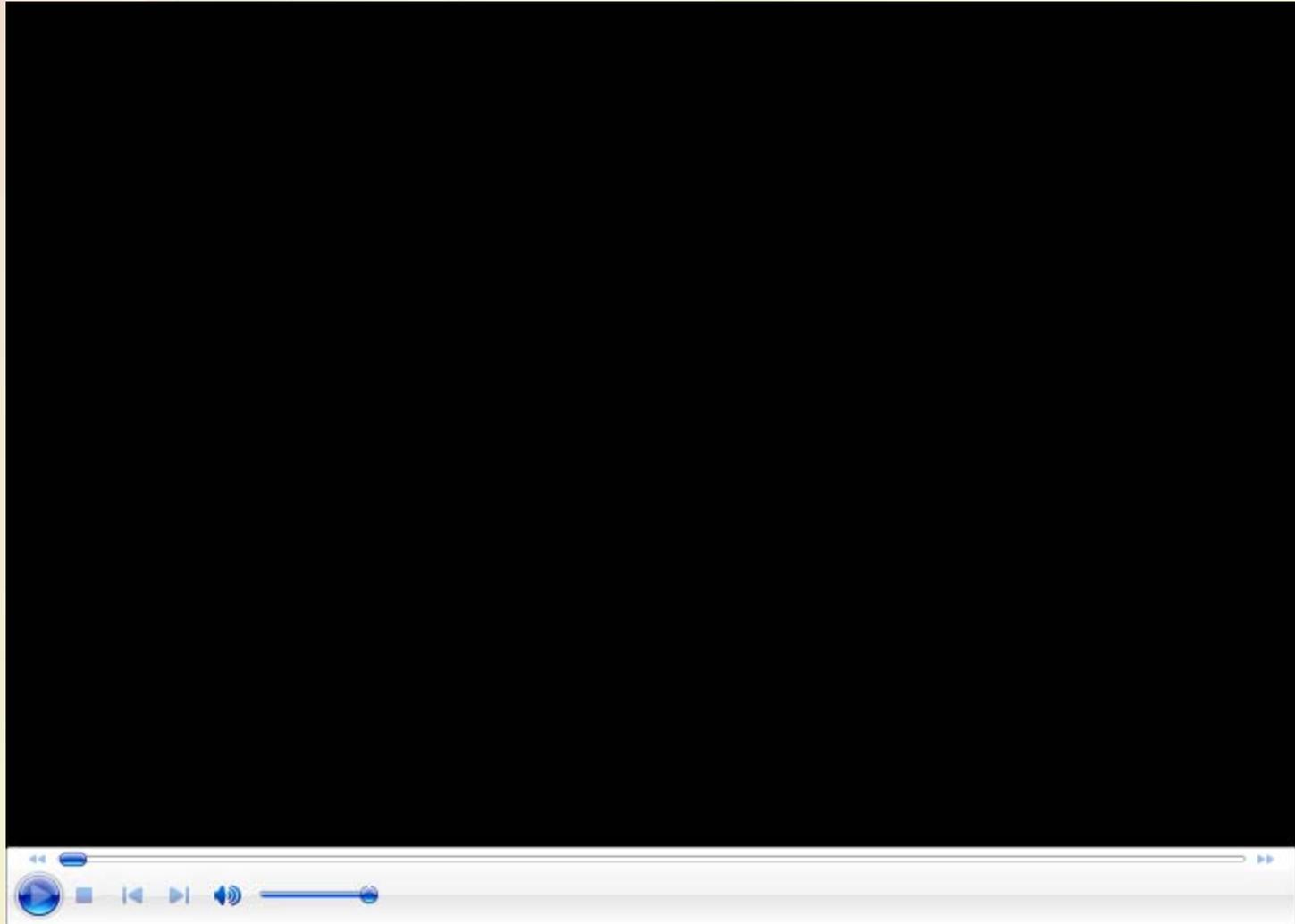
コンゴ民主共和国の焼
畑農耕民

木村は1986年から調査
1990年～2004年 内戦によ
り調査中断

2005年から再開



ボンガンドの「投擲的発話」(ボナンゴ)



ボナンゴの形式

- ・ おもに中年から老年の男性によって発せられるが、女性や若者が語ってもかまわない
- ・ 短いものもあるが20～30分続くこともある
- ・ 数百メートル先まで届くこともある
- ・ 明示的な聞き手が見あたらないことが多い

ボナンゴの内容

- ・ 情報伝達の
 - 「明日みんなで橋を修理しよう」
 - 「村の男が森で迷って帰ってこない」
- ・ しょーもない内容
 - 「うちの孫が学校に行きたがらない」
 - 「今日は暑すぎる」

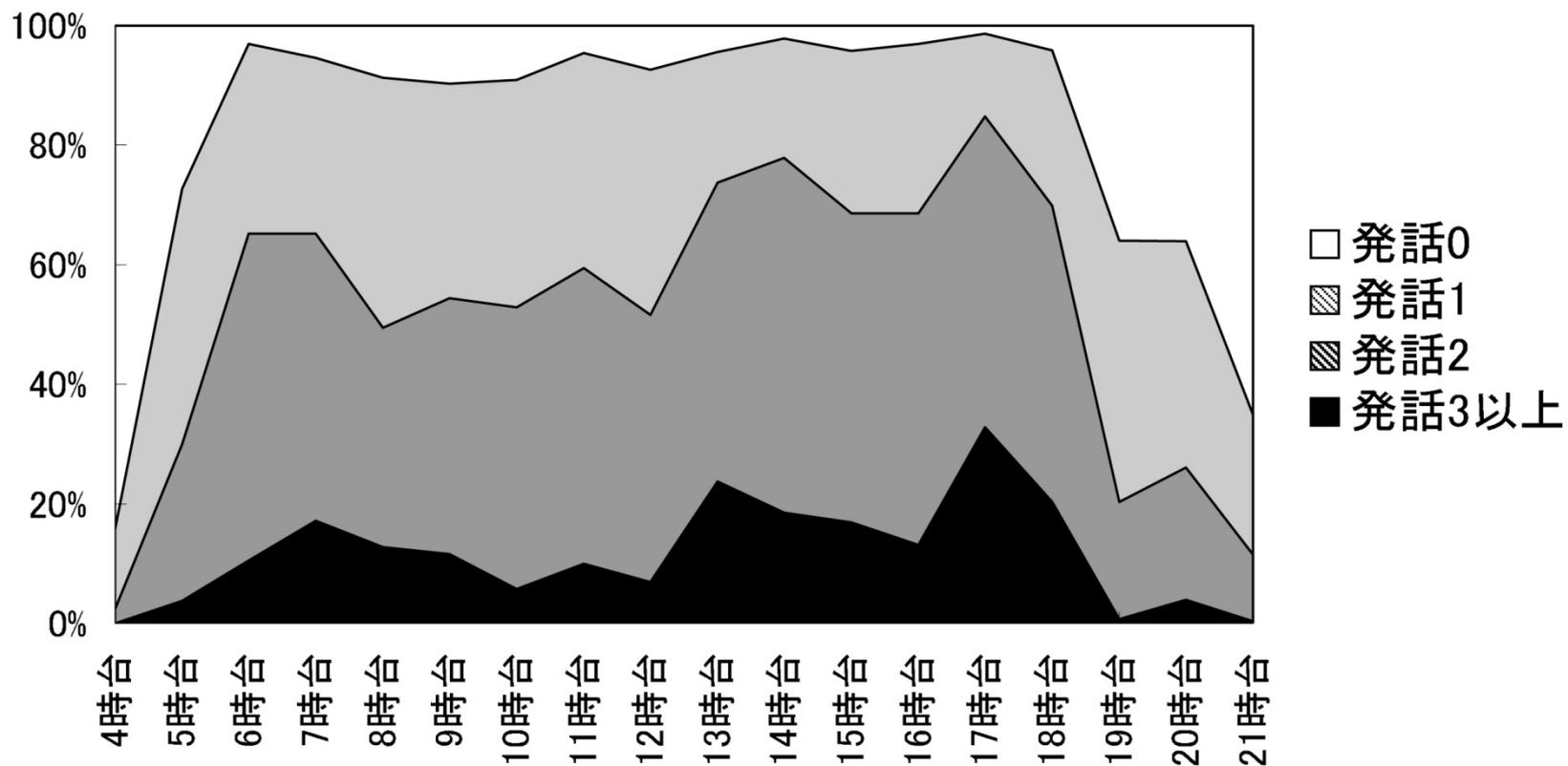
ビデオで老人は何を語っていたか

ヤギが盗まれたという事件について語られている。語っている老人がバオーヘンダとアト一口タという二人の男から聞いた話なのだが、その二人はさらにその話を、ヤギが盗まれた本人A(名前不明)から聞いたのだという。

つまり老人は、二重の伝聞の話をしている。そのような当事者性の薄い話を、ここまで朗々と語れるとは…

声に満ちた村

発話密度の測定



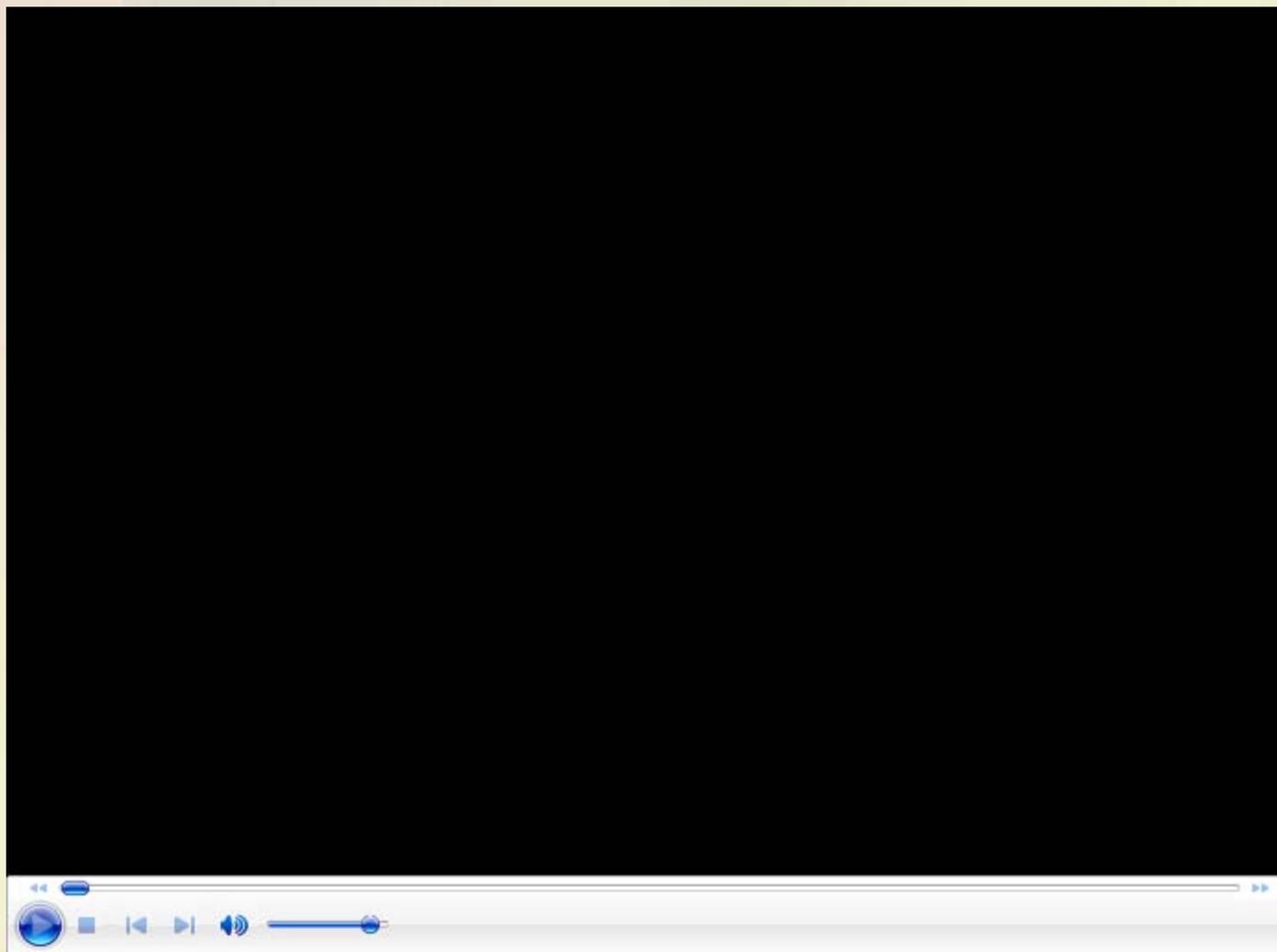
声による過剰なかかわり

- ・ 木村が熱を出し、家の窓を閉めて寝ていると、外で大声で「ボンデレ(白人)は寝ている!」と叫ぶ
- ・ 子供がパイヤやキノコなどを売りにくるが、いらないと言うと、くるりと振り向いて村中に向かって、「Ate, ahalange!(彼はいらないと言った!)」と叫ぶ
- ・ →「放っておいてくれ…」

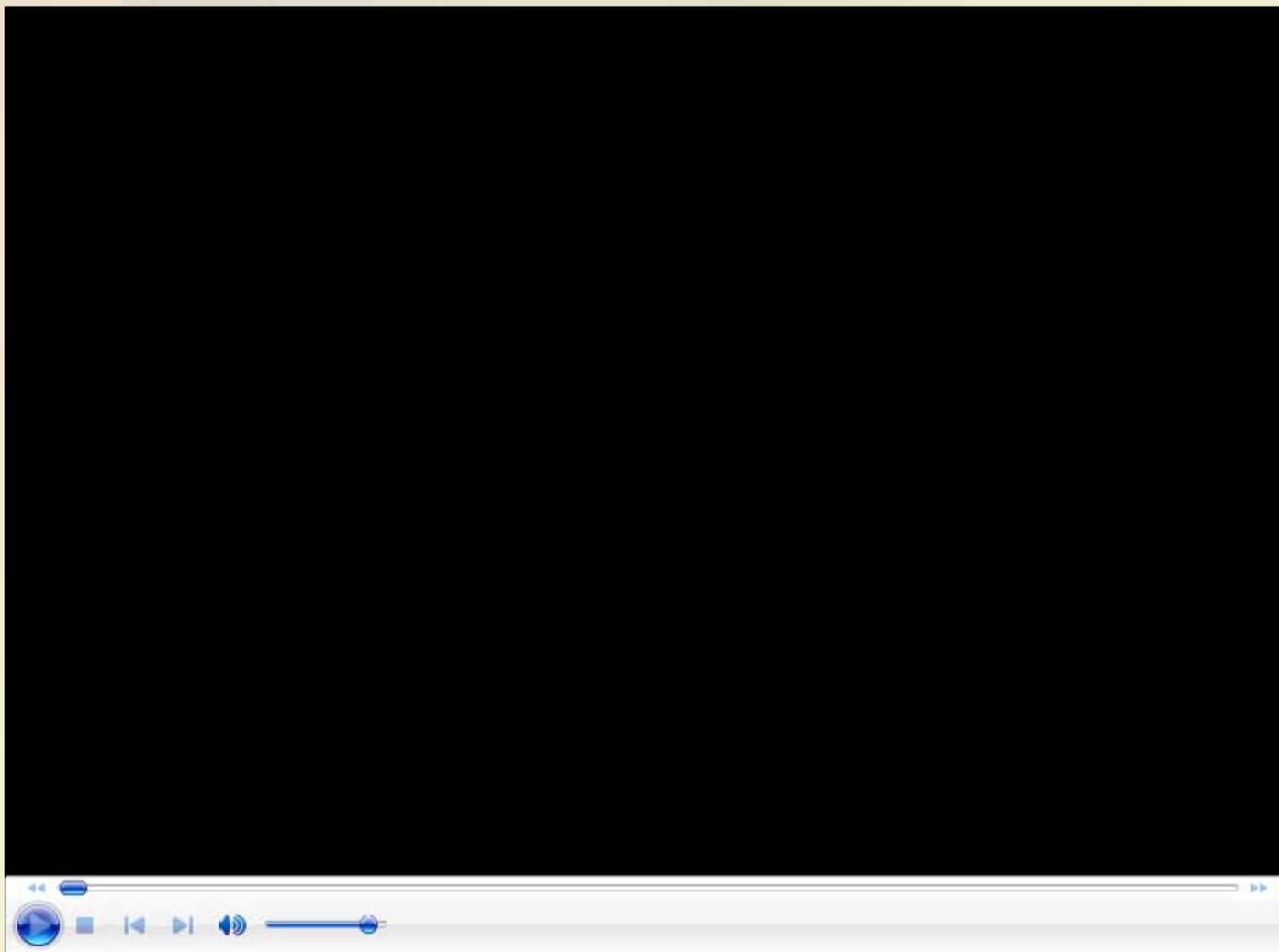
トーキング・ドラムによる伝達

- ・ 高い音と低い音で、音声言語のトーンをなぞる
- ・ 条件がいいときは数十キロメートル先まで音が届く
- ・ 数千人の人の耳に入る可能性がある

トーキング・ドラム（ロコレ）1



トーキング・ドラム（ロコレ）2



トーキング・ドラマの内容

- ・ 情報伝達的内容
 - 「〇〇が死んだ」
 - 「狩りに行こう」
- ・ しょーもない内容
 - 「腹が減った！」 (“*Bototoloto! Bototoloto!*”)
 - 「朝から何も食っていない!」
 - 「毎日雨ばかりだ!」「雨降れ!」
- ・ たいへん興味深いことに、後者も「ボナンゴ」と呼ばれる

「ボナンゴ」における「投擲性」1/2

- ・ 発話は特定の相手に向けられておらず、明示的な受け手が存在しなくてもいい
- ・ 発話は通常、一方向的におこなわれる（対話的ではない）
- ・ (潜在的な)受け手は、発話に対する関心を表に表さない。せいぜい小さな笑い声を上げる程度。(cf. Goffman (1963) の「儀礼的無関心」)

「ボナンゴ」における「投擲性」2/2

- ・ 話し手の態度だけでなく、それを受け取る聞き手側の無関心も重要。(お互いにそれがわかってやっている)
- ・ 話し手は発話を投げ、受け手はそれを受け取らない → 「投擲的発話」

ボンガンドの発話の位置

もちろん、われわれが通常おこなっている「会話」
がないわけではないが

相手が
定まっている
(対話)



相手が
定まっていない



「投擲的発話」の利点と欠点

- 聞き手と発話との関係性が断ち切られている → 発話のアドレス性, 責任を気にせずに好きなことが言い放てる (cf. 「王様の耳はロバの耳」)
- × アドレスをめぐるフレーム問題的な混乱が起こる可能性 (慣れてないと)
- × 対面的会話に比して, 相手を特定した細やかなインタラクションができない

vs. 対話ドグマ dialogue dogma

- ・ インタラクションは「対話的」であるのが良いとしてしまうエスノセントリズム
 - 対話のパーティーは少数である
 - 音声的インタラクションは対面的に起こる
 - 対話は交互的であり(ターンテイキング), 沈黙は抑圧される
- ・ 「ボナンゴ」の記載はそれに対する反例(別の例: Heliwellのロングハウスの話, 川田の「シンローグ」)

伝達の二つのやり方

- ・ 受け手をきちんとアドレスしてその相手だけに伝える (ex. 神経系, 電話)
- ・ 情報そのものはブロードキャストし, その取捨選択は受け手に任せる (ex. ホルモン系・フェロモン系, ラジオ)

「音声」というモード（視覚と比して）

- ・ アドレス性が弱い（四方八方へ伝わる）
 - アドレス性を強くするための工夫
 - 視線や顔の向きによる補助
 - 名前を呼ぶ
 - ターン・テイキング
- ・ 伝達距離は長い，ものに遮られにくい
- ・ 口だけでおこなえる（手や体を使わなくてよい）

音声言語と視覚言語

- ・ なぜ人類において音声言語が主要な伝達手段となったのか？（視覚(手話)言語でも十分いけるにもかかわらず)
 - 手の使用の必要性？
 - 分節性の問題？
 - 見通しの悪いところ(森林など)での伝達の問題？

ボナンゴとツイッターの類似性 1/2

ボナンゴについて発表すると「そういうことはツイッターで実現されていて珍しくない」というコメント(逆に言うと, ツイッターはボナンゴで実現されていた)

- ・ 相手のことをあまり考えない「つぶやき」(ボナンゴは大声だが)
- ・ 不特定多数に対して投擲される

ボナンゴとツイッターの類似性 2/2

これらは、われわれの社会では音声的コミュニケーションにおいて抑圧されてきた。

インタラクション形態の「別の可能性」がインターネットによって開けた。(実はボンゴは昔からやってきたのだが。)

ボナンゴ: 最近ネットで話題に

Twitter is Bonango is Twitter - 1] - Mozilla Firefox

http://togetter.com/li/6414

Tembea+ASCOM 新聞+天気 コンピュータ Sニュース 大学関係 その他 Gmail Google

TweetBuzz - インターネット連続講座 Togetter - 「Twitter is Bonango is Tw... X

RT @imbeder: すんごいおもしろい。RT kureichi まさこ。RT @kdxn わかった。Twitterはボナンゴだ。我々はアフロ化しつつある。<http://www.africa.kyoto-u.ac.jp/lecture/kimura2/3.htm>

hisasimi
2010-02-17 19:42:11

読んでみます。著者がTwitterでいいかと思って探してしまいましたが、いいみたい。RT @kdxn 実数は数年前にその『共在感覚』(京都大学学術出版会)って本を読んだのですが、これ超おもしろいです。

kureichi
2010-02-17 19:48:42

この本ではコンゴのボンガン人とカメルーンのバカ・ビグミーの二つの会話方法が研究されていて、どちらも我々の想定する対話と全然違うのでびっくりします。RT @kureichi: 読んでみます。

kdxn
2010-02-17 19:51:25

で、それらに共通する感覚として「共在感覚」というのを見出しているわけです。遠くにいる人と近くにいる人に、同時に会話する。それが、ボナンゴであったりキングダムであったりによって行われるのですが、この物理的距離と心理的距離の不一致はインターネットのかも。

kdxn
2010-02-17 19:53:29

バカ・ビグミーの場合は、人がたくさんいても沈黙がつづき一方、一人が喋りだすと場にいる人が一斉に話したし、それが一段落するとまた沈黙、みたいな様子がおもしろいです。monologueでもdialogueでもなく、multilogueあるいはomnilogue。

kdxn
2010-02-17 19:56:18

だね。インターネットでつながっている方が心理的距離が近いのは当たり前と言えば当たり前なんだけど、ここで面白いのは、独り言でもいってこと。純粋な独り言とは違ふけど。RT @kdxn この物理的距離と心理的距離の不一致はインターネットのかも。

kureichi
2010-02-17 20:07:33

で、いま目次見たら最終章でちゃんとインターネットや携帯を論じてるわw ということは、Twitterの登場はネットのあるべき方向への当然の進化と見ることもできる。RT @kureichi: インターネットにつながっている方が心理的距離が近いのは当たり前と言えば当たり前

家に入れたiPhone4 (@ProfMatsuoka)のiPhone4 電波感度問題に関するつぶやき 31 users

夜中における根源的倫理について(同性愛編) 45 users

ハワルの 勤め 証 樹 174 users

—最近追加された商品—

ジャンプチェアピンク

ペペロシヨシヨ 360ml 3 users

インフォコムズ (講談社BIZ) 22 users

ゆちゃうす 1000 1箱12コ入×3パック【リンクルゼロゼロお試しサンプル付】 2 users

私にはもう出版社はいらないー キンドル・POD・セルフパブリッシングでベストセラーを作る方法~ 6 users

ウェブ国産カー一日の丸ITが世界を制す(アスキー新書 047) 17 users

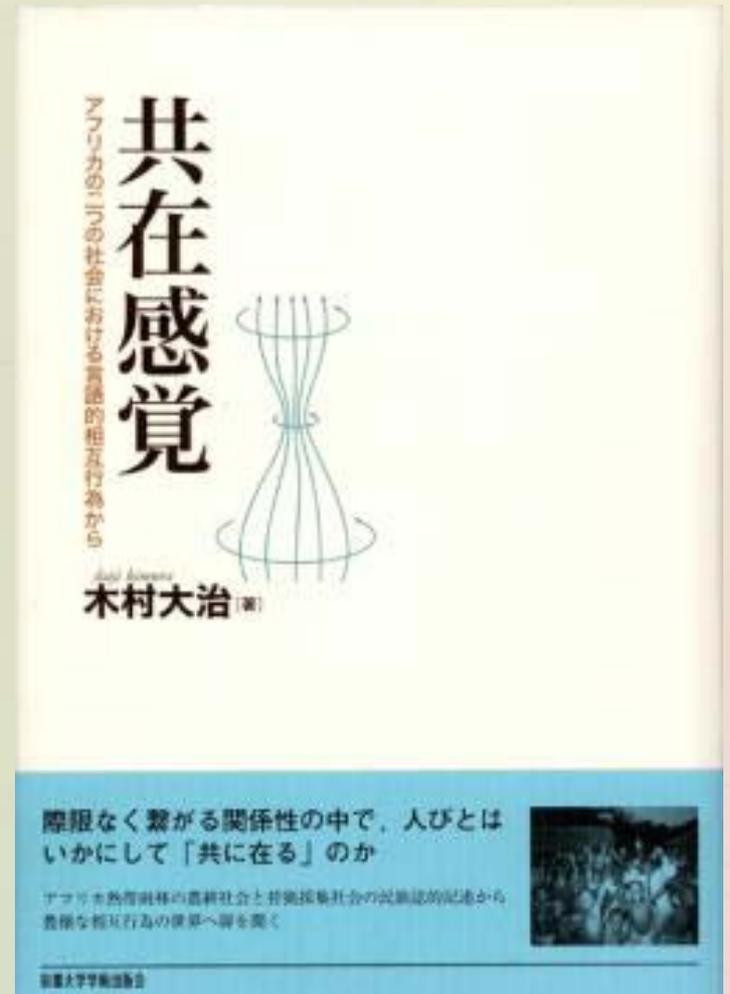
—最近ログインしたユーザ—

トヨタ nissan 東映

無視することの技術

- ・ 新しいコミュニケーション形態の急激な立ち上がり
 - 携帯電話
 - インターネット（メール，掲示板，ツイッター…）
- ・ われわれはこれらのコミュニケーション形態に対して，文化的に成熟した「無視すること・切ることの技術」をまだ持ってない？

「共在感覚 –アフリカの アフリカの二つの社会にお ける言語的相互行為から」 2003



つながることと切ること

コンゴ民主共和国、ボンガンドの声の世界

ご静聴ありがとうございました